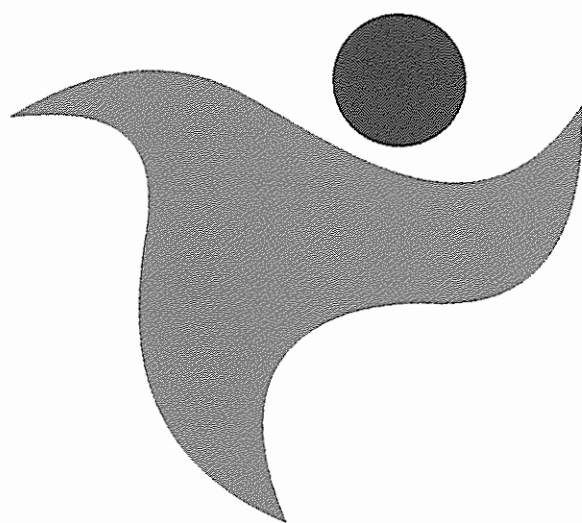


地域の元気推進事業

**立花地区
まちづくり基本計画**



平成 21 年 3 月

立花地区まちづくり運営協議会

はじめに

地方分権の流れの中で国と地方のあり方が見直され、自ら考え、実行する自治体になることが求められていますが、自立した自治体になるためには、行政体制の見直しだけでなく市民と行政の関係も変化が求められています。

まちづくりでは「自分たちのまちは、自分たちでつくる」が基本となり、「自分たちの地域で、自分たちは何ができるか」を考え、「地域の課題は地域で解決する」という姿勢が必要となっています。また社会情勢も大きく変化し、立花地区でも少子高齢化が進みつつあり、共助の精神により地域で支えあっていく仕組みも必要です。

本書は、「人々が支えあい、心豊かに安全で、活力のあるまちづくり」をすすめるための計画書です。

計画の策定につきましては、区長、各種の自治事業を進めておられる団体の代表の方、支援の市職員など多くの方にお集まりいただき進めてまいりました。お集まりいただいた皆様には大変、ご苦勞していただきましたが、このように立派な計画を作成することができました。心から感謝申し上げるものです。

今後はこの計画に基づいて事業を進めていくことになり、地域全体の力が必要となります。どうか、この計画の趣旨をご理解いただき、自分たちの住む地域をよりよいものとするため、住民一人ひとりの協力をお願いいたします。

平成21年3月30日

立花地区まちづくり運営協議会 会長 小島輝雄

目 次

1. 計画策定の理由・位置付け	1
(1) 策定の理由	1
(2) 計画の位置付け	1
2. 現状と課題	1
(1) 特性	1
(2) 立花地区を特色づける施設、景観	2
(3) 立花地区の範囲	3
(4) 成り立ち	4
(5) 人口等の推移	5
(6) 地区住民アンケート調査結果	6
3. 将来構想	13
(1) まちづくりの基本理念	13
(2) まちづくり基本計画	14
①地域の特色を活かした元気のあるまちづくり（地域活性化部会）	
②子どもたちが心豊かに育つまちづくり（青少年育成部会）	
③人々が支えあうあたたかい地域福祉のまちづくり（健康・福祉部会）	
④安心・安全に暮らせるまちづくり（安心・安全部会）	
⑤地域特性や文化活動を活かしたまちづくり（文化活動部会）	
4. 構想実現に向けて	20
(1) 立花地区まちづくり運営協議会の組織	20
(2) これからの進め方	21

※参考 立花地区町民憲章

1. 計画策定の理由・位置付け

(1) 策定の理由

少子高齢化の進展、地方財政の転換期、市民要望の多様化など、私たちの暮らす地域を取り巻く環境は、今、大きく変化しています。

これからは地域が自己決定・自己責任のもと、より地域の実情に合った事業を展開していく時代です。みなさんがまちづくりに参画できる仕組みづくりが必要となります。

そのため、地域住民みずからが企画し、自主的に取り組み、各地域の地理的条件や特性に応じた活性化の推進を図る「地域の元気推進事業」に平成 20 年度から取り組んでいきます。

(2) 計画の位置付け

この計画は、立花地区のまちづくりの大きな方向性を示すもので、まちづくりの基本計画となるものです。住民アンケートの結果やまちづくり運営協議会などによる討議結果を踏まえて、「立花地区町民憲章」に基づく計画を策定します。目標年次を平成 30 年（2018 年）として、それまでに取組む具体的な事業計画を表すものです。計画期間内の取組みについては、短期、中期、長期とおおむね 3 つに大別し、効率的な事業の推進を図ります。

2. 現状と課題

(1) 特性

立花地区は、伊万里市の中心部に位置し、9 行政区で構成されています。平成 15 年 4 月 1 日に大坪地区から分離独立するまでは、大坪地区として行政、文化、スポーツ面などで共に活動を行ってきました。立花、大坪以外の町では全て町単位での「まちづくり」が基本になっていますが、立花町内には大坪地区の行政区があり、その関係で「立花地区」という呼称を使っています。

立花地区の最大の特徴は、市役所をはじめ、官公庁や主要な機関が集中していることが挙げられます。このことは「伊万里市の顔」的存在であると言えます。

交通は、JR・MR伊万里駅をはじめ、国道 202 号、市道 1 号線である平尾一脇田線などが縦横に走っており、路線バスや「いまりんバス」が走行しています。

(2) 立花地区を特色づける施設、景観



①市役所



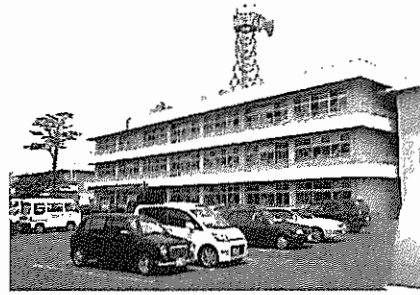
②消防本部



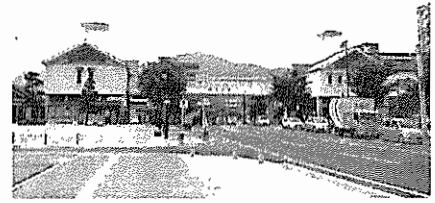
③立花公民館



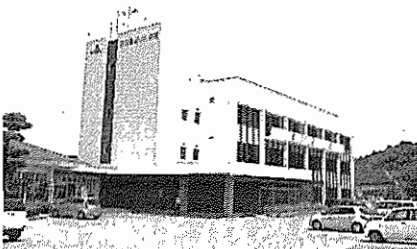
④立花小学校



⑤総合庁舎



⑥伊万里駅



⑦JA本所



⑧市営・県営住宅



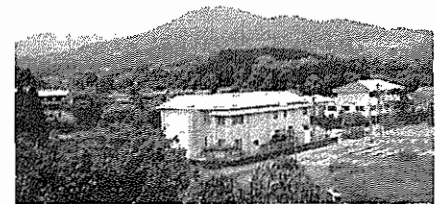
⑨国道202号



⑩南北道路

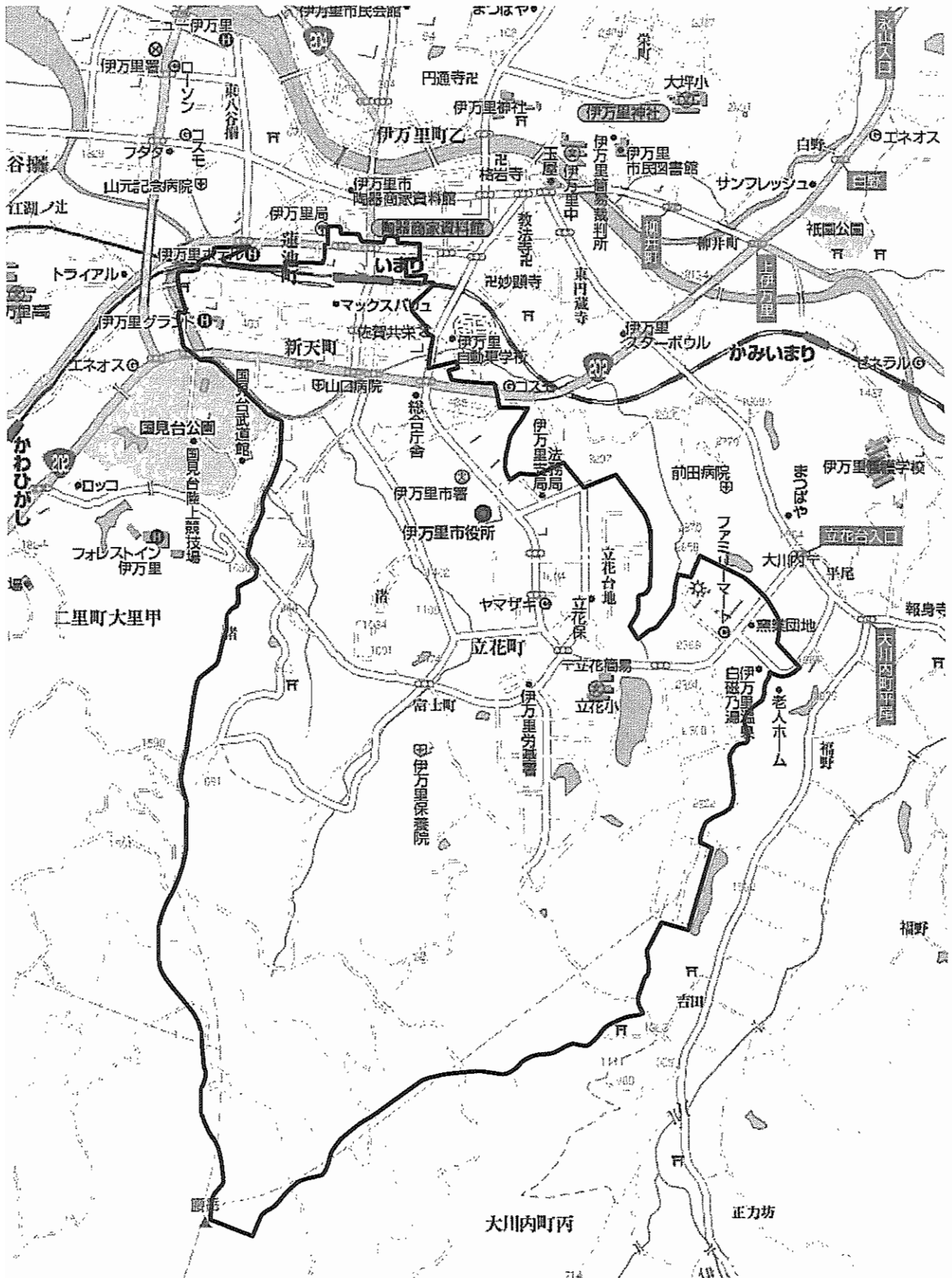


⑪街路



⑫腰岳

(3) 立花地区の範囲



(4) 成り立ち

江戸時代からあった集落は「町裏」の新天町や中井樋、農村地帯であった富士町、渚のみであり、立花台1～4丁目、南ヶ丘は昭和42年の水害後の伊万里川拡幅に伴う移転住宅や市営・県営住宅の建設、民間資本による住宅開発地区です。さらに、市中心部という地理的特性により、民間のアパート、マンションが立地し、昭和40年代を境として、大きく様変わりをしてきました。

立花地区関係の主な出来事

- ・昭和29年 4月 伊万里市制施行
- ・昭和38年 9月 国見台総合グラウンド完成
- ・昭和42年 7月 7・9災害発生（死者12人、被害総額120億円）
10月 伊万里川改修計画発表
- ・昭和43年 8月 国道202号伊万里バイパス立ち入り測量開始
- ・昭和45年 3月 市庁舎の位置立花台地に決定
10月 立花台地、栄町の2行政区を新設
- ・昭和46年 5月 県総合庁舎坂口台地に完成
9月 立花台地用地造成に着工
- ・昭和48年 4月 国道バイパス一部開通（森永交差点～県道伊万里武雄線）
8月 新市庁舎へ移転
- ・昭和50年 4月 伊万里バイパス全面開通
- ・昭和53年 6月 「立花台地」行政区を「立花台1丁目～4丁目」に変更し分割
- ・昭和55年 3月 立花保育園完成
- ・昭和57年 4月 伊万里市と畜場閉鎖
- ・昭和58年10月 「佐賀厚生年金休暇センター」オープン
- ・昭和59年 4月 立花小学校開校
- ・平成5年 4月 南ヶ丘区東円蔵寺から分離
- ・平成11年 8月 立花台地第2期開発完了
- ・平成13年 3月 川東－富士町線開通
- ・平成14年 3月 新伊万里駅開設
- ・平成15年 4月 立花公民館開館
- ・平成16年 4月 南北道路（中央大通り）開通

(5) 人口等の推移

前述の昭和40年代を境として、行政区が増加し、人口も急激に多くなり、新天町や立花台1～4丁目、南ヶ丘は人口集中地区となっています。立花地区総人口の伊万里市総人口に占める率は11.7%となっており、伊万里町に次ぐ人口密度を占めています。世帯数についても同じように増加していますが、アパート等が多いため、1世帯当りの人口は少なくなっています。

市内の高齢化率（65歳以上の人が市内総人口に占める割合）は、24.6%ですが、立花地区については16.4%と一番低い数字となっており、小中学校が他町では統合されていくなかで、伊万里中学校や大坪小学校の分離が行われたように、比較的若い世代が多い地区と言えます。

人口、世帯数の推移

	立花台1丁目		立花台2丁目		立花台3丁目		立花台4丁目		新天町	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
平成18年3月末	622	264	571	214	972	347	329	134	1,416	594
平成19年3月末	594	256	570	219	992	357	319	135	1,464	629
平成20年3月末	585	255	563	219	1,013	367	309	136	1,491	657
平成21年3月末	578	259	523	208	1,019	374	300	134	1,540	693

中井樋		富士町		渚		南ヶ丘		合計	
人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
277	126	714	281	544	220	1,313	468	6,758	2,648
280	132	707	275	538	218	1,321	487	6,785	2,708
285	128	714	279	530	223	1,325	487	6,815	2,751
279	140	745	300	554	234	1,387	513	6,925	2,855

(6) 地区住民アンケート調査結果

立花地区の現状と課題を把握するために、平成20年12月から平成21年1月にかけて全世帯を対象にアンケート調査を行いました。2,630世帯（アンケート配布世帯）のうち1,073世帯から回答をいただきました、回収率は40.8%でした。

さらに、子供たちの将来に対しての意見を把握するため、個別調査として立花小学校育友会の協力を得て、立花小学校保護者へのアンケート調査を実施しました。回収率は60.5%でした。それぞれのアンケートの結果は以下のとおりです。

全世帯対象アンケート調査

1. あなたの年齢は？

- ① 30歳未満：3% ② 30歳代：10% ③ 40歳代 15% ④ 50歳代：27%
⑤ 60歳代：24% ⑥ 70歳代以上：16% ⑦ 80歳代以上：4% 無回答1%

2. あなたの性別は？

- ① 男：35% ② 女：62% 無回答：3%

3. あなたは立花地区が好きですか？ 1つ選んで、理由があれば記入して下さい。

- ① 大変好きである：20%

理由

- 中心地として近場に何でもある。 ●交通の便が良い。 ●日常生活がしやすい
- 市の中心部なので、スーパー、コンビニ、郵便局、役所が近く、便利である。
- 静かで利便性がよい。 ●庁内が美化されていて近所づきあいも良好です
- 強制的に参加する行事がない。 ●お店がたくさんあり便利。人柄も良い。
- 地区を良くしようとする人がたくさんいて、良くなっているのが目に見えてわかる地区だから。 ●生活するうえで、大変便利である。 ●住みよい 落ち着く。
- 生まれ育ったところであり、地域とのコミュニケーションが取り易い。
- 家族的である。 ●利便性が高いから。 ●閑静で住みやすい

- ② まあまあ好きである：52%

理由

- 人間関係が良い。 ●皆さん積極的に協力されているから。 ●静かで住みやすい
- 学校も店も近いし不便ではない。 ●都会と田舎の気風を持ち合わせているところ。
- 24h スーパーや、駅、バス停など意外と便利だから。 ●地域との交流がある
- 静かで景色がよく、利便性がある。 ●地域に活力があり融和が取れている。

- 住宅地として適しているから。 ●静かで生活しやすい。 ●環境が良い。
- 町並みがきれいだと思う。

③ どちらとも言えない：22%

理由

- 立花地区としての現在までの活動がよくみえない。 ●高齢者が遠慮している。
- 若い人たちの地区への参加が少ない。 ●あまりお付き合いが無い。
- 協力する方としない方で、しない方のほうが多いような気がします。
- 一部非協力的な住民がいる。 ●ゴミだし等マナーの悪い所がある。
- 近所づきあいがあまりないので、ちょっと淋しい感じがする。

④ あまり好きではない：3%

理由

- 思いやりが無く、無視する傾向を感じ、自己主義が強い。 ●何となくなじまない。
- 周りがあまりにも個人のことに干渉しすぎる。 ●人のことを色々という人がいるから
- 新住居者と旧住居者の意志がかみあわない

⑤ きらいである：1%

理由

- 身勝手な人がいて、みんなが迷惑している。 ●古いしきたりが多い。
- 人間が何か付き合いにくい。明るさがない。

無回答：2%

4. その他に立花地区のいいところ、よくないところがあれば記入して下さい。

- 季節感があり、花や紅葉が楽しめて良い。
- 個人住宅、集合住宅、農業地区といろいろな立場の寄り集まりの地区だからこれが良いときと悪いときがあるように感じています。
- 重要な機関がいろいろ近くにあって、すごく都合がよく便利です！ 街路樹の紅葉の美しさ、また、道脇の清掃など地域全体に清潔感を感じます。
- 地区の交流がどうなっているのかわからない。町内や地区内で何をどの様に考えておられるのか全くわからない。
- 住みやすい地区であるとは思いますが、夜になると暗い場所も多く、防犯を考える時に危険を感じることもある。
- 路上駐車が多い。 ●区の行事に参加者が少ない（関心がない人が多いのでは…）
- 強制がないところが良い。歩道に犬のフンが落ちている。とても気になります。

●立花地区の高齢化が気になります。一人暮らしの人をどうささえるか。立花地区の元気は高齢者対策が一つの鍵になるのでは。

●大人から子供までの行事や活動などたくさんありますが、実際に参加する人は少なく、またどの会場にも同じ顔、役員ばかりです。これからは少子化になっているので、行事等少しずつ減らしたほうがいいのではないのでしょうか？

●新しい町ゆえ、まとまりがない所がある。 ●ごみ出しのマナーが悪い。

●スポーツや行事は色々行われているみたいですが、回覧板で見ているんですが、後から立花地区に居住した者は行きづらい所があります。もう少し各家への呼びかけなどあれば、いいのではないかなーと感じます。

●伊万里の中では都会的に見える反面、悪い行動や他人の事は関係無いといえる感じが有り、一長一短だと思います。私には合っている地区だと思います。

●地元意識が薄く、地元を愛している人が少ない。老人会入会する人が少ない。他人のために協力する人が少ない。

●なんだか挨拶とか声を掛け合うことって少ないような気がします。それにごみのポイ捨てが多いですね。地域の連帯感少ないのかなって感じます。当たりはずれでも生活できるけど、ちょっと寂しい気もします。

●渚から富士町への道路の状態が悪い。早急に整備してほしい。

●道路へゴミが散乱しているのが見かけられ、公德心の無さが目立つ。

●市役所学校病院など近くにあり、生活するのに市の中で一番利便性がある町だと思う。立花町の行事等もたくさんあり楽しい。反面、アパートマンション等集合住宅が増えて人との付き合いが難しくなり、地域としてのまとまりが無くなりつつあるのかもしれないと思う。

●公民館祭りに若い独身や若い男女も参加してくれればと思います。若い人がこっちを向いてくれる何かしてほしいですね。

●地域づくりに積極的な方と消極的な方と差が大きい。

●個人でではなく家族みんなで参加し楽しめる行事が増えたらいいなァ。と思います。

5. これから「まちづくり」を進める上で、あなたが大切だと思うことを2つ選んで下さい。

- ① 防災・防犯・防火など安全・安心に力を入れること：38%
- ② 立花地区内（南ヶ丘・富士町・渚・立花台1丁目～4丁目・新天町・中井樋）の交流を盛んにすること：8%
- ③ 健康や福祉に関する活動を盛んにすること：22%
- ④ 生活環境や自然環境に関する活動を盛んにすること：20%
- ⑤ 芸術や文化、教養を高める機会を多くすること：4%
- ⑥ スポーツや体力づくり活動の機会を多くすること：4%

⑦ その他：1%

その他の理由

- 子供の遊べる場所の確保。 ●ご近所のつながり、お付き合いを大事にすること。
- 子供を増やして行く支援や対策等。 ●大人と子供の交流を多くする。
- 乳幼児やその母親同士が出会える機会を多くもつ。 ●世代間の交流。
- ボランティア活動を活発に行われる機会を多くすること。 ●農地を大切に。
- こういった推進事業に関心ない人たちに関心を持ってもらうようにすること。

無回答：3%

6. あなたは毎月出されている立花公民館の館報「こしだけ」を読んでいますか？

- ① よく読んでいる：25%
- ② だいたい目を通すようにしている：43%
- ③ 時々読む程度である：18%
- ④ ほとんど読まない：7%
- ⑤ 全く読まない：4%

無回答：3%

7. あなたは「地域の元気推進事業」のことを知っていましたか？

- ① よく知っている：3% ② 知っている：8% ③ あまり知らない：47% ④ 知らない：39% 無回答：3%

8. これから「地域の元気推進事業」を進めることになりましたが、あなたは、このような取り組みに関心がありますか？

- ① 積極的に関わりを持っていきたい：3%
- ② できるだけ協力はしていきたい：65%
- ③ あまり関心がない：23%
- ④ 全く興味がない：4%
- ⑤ その他：1%

理由

- 休日出勤などで協力が難しい。 ●時間があれば協力したい。
- どの様な取り組みか内容がわかりません。 ●年齢のせい、関心が薄いようです。
- 何の役員でも顔ぶれが同じで入っていきにくいと感じます。
- 興味がないわけではないが時間がない。 ●老人会に属しているので関心はあります。
- 現在、すべての活動で、一定の少人数での活動が中心で、このような、あいまいな活動では無意味。もっと多くの人の参加を呼びかけるのが先では

無回答：4%

9. 立花地区のことで感じていることがありましたら、記入して下さい。

●子供たちが成長して家を出て行きます。これからは老人世帯が多くなると思いますので、近所で声をかけたりすることが必要。

●地域の連帯感が薄い。環境が良好。

●行事等役員さん中心ででるのではなく、自ら出場したくなるような行事にしてほしい

●犬のフンの後始末をされる人が少ない。

●ご近所の顔が見えません。いい「まちづくり」を進める上で、近所とのお付き合いはとても大切です。みんなが、笑顔で生活できる町にしたいですね。昔の田舎みたいに暮らせたらいいいですね。

●若い力がどんどん入ってきているので、その人たちを巻き込んだ動きが出来る、活気が出るだろうと思います。

●若い人たちの行動力が今ひとつあったらと思う。

●公民館から遠いところの者が行事等の参加が少なくなっている。誘い合いが必要ではないか。

●防犯のためにも街灯をもっと増やしてほしい。

●それぞれ独立していてあまり親交が無いような気がしています。

●やはり人間対話のできる環境をもっと充実したいと思います（ふれあい広場など）明るく豊かな笑顔ある町を望みます。

●すぐ立花地区のことには関心がありますが、一部の人しか話が伝わっていないように感じます。

●高齢者、とくに一人暮らしの世帯について、立花地区から市県国に対し安心して住める地域のモデル地区になるようにプランを作成していきたいですね。

●これから老人の方が増加してくるので、バス路線の検討をしてほしい。

●当地区は混住化地区であり住民の考えも多様であり、住民意識のまとめ役が大変だと思います。昔からの伝統的行事もなく新しい町ということから、これから作り出していこうと言うので、一つのことではなく、様々な行事、催しもの等も気長に続けていったらその中で少しずつ立花らしい方向性格ができてくるのではないのでしょうか？

●もっともっと交流の場を増やして、人と人の接点を多くしないといけないと思う。それが立花町を元気な明るい街にするのではないのでしょうか？

●立花地区は以前からある地区と新しくできた地区があるが、町の行事について協力・参加が多いところと少ない地区があるように感じる。行事は行われているが、何事にもまずは参加することからと思われるので、参加者が少ない地区は参加意識の高揚を図ってほしい。また、参加しやすい新しい行事等も考えてもらいたい。

- 防災時にもっと身近な避難場所を欲しい
- 新しく地区に参入してくる人たちに、どうすれば地区の行事に興味を持ってもらったり、参加してもらえるのか皆で考えていくことが大切でしょう。
- 門松づくり、鬼火焚き等、地域の方々と子どもとのふれあい（伝統行事）町の活性化につながる。
- 立花公民館の利用をすすめていきたいですね。せっかくりっぱな施設があるので。色々、行事があっているとしたら広報をより広めたいものです。
- 役員が中心になるのではなく、住民が中心になるようなイベント、地域活動が行われるような取り組みの方法を検討して欲しい。
- 新興住宅地などが多いため、近所づきあいが希薄なところがあるけれど、しずかで役所等にも近いので便利。大きな病院が少ないのが不安です。
- 何回も回覧で知らせているのに、犬の散歩の「フン」の始末が絶えません
- 市役所が近い、町に近い、景観が良い。街灯が少なく、暗い場所が多い。

立花小学校保護者アンケート調査

1. これから「まちづくり」を進める上で、あなたが大切だと思うことを2つ選んで下さい。

- ① 防災・防犯・防火など安全・安心に力を入れること：43%
- ② 立花地区内（南ヶ丘・富士町・渚・立花台1丁目～4丁目・新天町・中井樋）の交流を盛んにすること：12%
- ③ 健康や福祉に関する活動を盛んにすること：12%
- ④ 生活環境や自然環境に関する活動を盛んにすること：16%
- ⑤ 芸術や文化、教養を高める機会を多くすること：5%
- ⑥ スポーツや体力づくり活動の機会を多くすること：8%
- ⑦ その他：1%

その他の理由

- 地域活動のための人材育成

無回答3%

2. あなたは子どもが関わる地域活動（例：地区子供会や公民館行事など）に参加していますか？ その理由もお書き下さい。

- ① 積極的に参加している：22%

その理由

- 一人っ子なのでたくさんの人達と触れ合う機会を作りたいと思っています。

② 参加している。： 46%

その理由

●子供が喜んで参加するため。

③ あまり参加していない。： 19%

その理由

●仕事の都合、子供の習い事と日程が重なる事が多い。

④ 参加していない。： 8% 無回答： 5%

3. 子どもたちが関わる地域活動で、あなたが大切だと思うものを3つ選んで下さい。

① 放課後子ども教室： 14%

② 通学合宿： 3%

③ リーダー研修会： 1%

④ クリーン大作戦： 12%

⑤ 食育の推進： 7%

⑥ 三世代交流事業： 3%

⑦ 地域の子ども見守り隊活動： 13%

⑧ リサイクル活動： 13%

⑨ 地域の伝統文化の継承（トンテントンや鬼火たきなど）： 14%

⑩ 体験学習（竹炭づくり、石窯づくり、ピザづくりなど）： 17%

無回答： 3%

4. 立花地区で子どもを育てる環境や子どもたちが関わる地域活動で感じていることがありますら、記入して下さい。

●車通りの多い路上で遊んだり、ごみをポイ捨てしている子どもたちが多く見られます。その都度注意しますが、改善しません。当人の保護者の意識が低いのか放任している様子です。社会的なルールを守る大切さを家庭、学校でもっと意識づけして欲しいです。

●自分の知っている子だけでなく、良いことをしていれば褒めたり、悪い事をしていけば叱ったり怒ったりする事を地域の大人がもっと自分達のこととして自覚したらいいと思う。もっと自分たちが暮らしている地域に関心をもっと持ったらどうでしょうか。

3. 将来構想

(1) まちづくりの基本理念

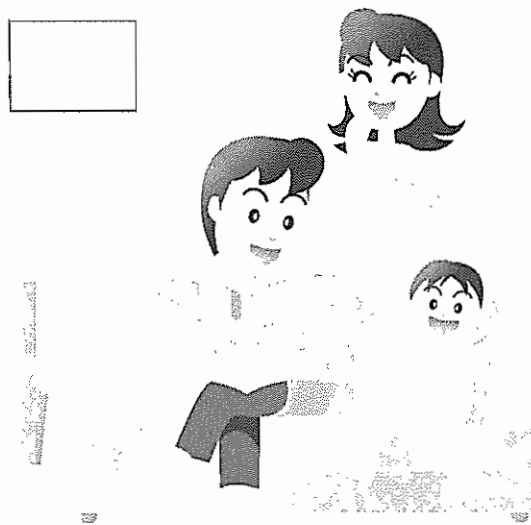
立花地区は、伊万里富士といわれる腰岳を背景に住環境に恵まれた地域です。昭和48年に伊万里市役所が移転したことを主な契機として、その後住宅地として開発が進み、市役所をはじめ、公共機関、病院などが集まり、生活環境が充実しています。

道路網は、伊万里バイパスや中央大通り、平尾ー脇田線、川東ー富士町線などの主要幹線や生活道路の整備に伴い交通量も増加しています。

地区内のコミュニティ活動については、平成15年4月に地域活動の拠点となる立花公民館が、大坪公民館から分離開館し、ボランティアや地域活動、趣味、サークルの指導者など人材が豊富で活発に活動がされています。

このようなことから、高齢者はもちろん地域住民が地域社会の中で助け合い、心豊かに安全で安心して暮らしていくことができるように、さらに、災害時などの要援護者の支援がスムーズに行うことができるように、各種団体の連携や全住民を対象にしたネットワークの充実を図ることが必要です。さらに、私たちの町「立花」が「自分のふるさとだ」という愛情が持てるような、まちづくりを進めていくことが必要です。

そのため、私たちは、「仲良く！楽しく！元気良く！ 住みよい明るい活力あふれるまち立花」を基本理念に定め、「みんなが安全・安心に暮らすことができるまち」、「みんながささえあう人情あふれるまち（支え愛・学び愛・活かし愛）」、「みんなが生き活きと元気あふれるまち」の3つの目標を掲げ、その実現に努めます。

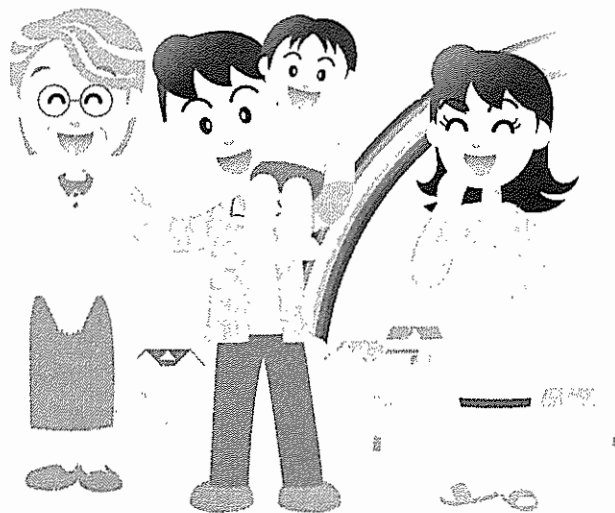


(2) まちづくりの基本計画

立花地区の将来構想を実現させるために、立花地区まちづくり運営協議会の5つの事業部会（地域活性化、青少年育成、健康・福祉、安心・安全、文化活動）でアンケートなどから得られた課題等を整理し、以下の基本テーマを設定しました。さらに、この5つの基本テーマに基づいて、具体的な行動計画を作成しました。

基本テーマ

- 地域の特色を活かした元気のあるまちづくり
- 子どもたちが心豊かに育つまちづくり
- 人々が支えあうあたたかい地域福祉のまちづくり
- 安全・安心に暮らせるまちづくり
- 地域特性や文化活動を活かしたまちづくり



①地域の特色を活かした元気のあるまちづくり（地域活性化部会）

立花地区では、区長会をはじめ、自治公民館長会、さらにそれぞれのOB会、体育協会などがあり、立花地区住民の融和や地区の活性化を図るため、公民館まつりや各種スポーツ大会を開催しています。

地区住民が一堂に会して行う各種取り組みは、地区としての一体感を醸成し、住民の交流をとおして情報の交換や親睦を深めるなど、他地区より活発な活動を行っています。

そのようななかで、住民アンケートなどによると、一部役員だけで取り組んでいるのではないかと受け取れる意見や、地域の取り組みがよく分からない、見えてこないなどの意見もあり、情報の提供やそのあり方、方法等を再考し、立花地区の特色を活かした元気なまちづくりを更に進めます。

【課題の柱】

1 地域特性を活かした住みよいまちづくりの実現

《具体的な行動計画》

- ・混在化したなかで、多数の情報の共有による住みよいまちづくり
- ・川や街路など四季を感じるまちづくり
- ・子孫に誇れる明るいまちづくり

2 交流が盛んで融和のあるまちづくり

《具体的な行動計画》

- ・観月会や公民館まつりの充実
- ・参加、体験を実践したくなるイベントの開催
- ・立花公民館を中心とした講座等の充実

3 文化活動やスポーツ大会を通じた元気なまちづくり

《具体的な行動計画》

- ・地理、歴史、文化、伝統行事などを通じた生涯学習の充実
- ・町民運動会や球技大会などスポーツイベントの充実と多数の参加
- ・世代を越えた交流、学習、体験ができる情報の提供

②子どもたちが心豊かに育つまちづくり（青少年育成部会）

立花地区では新たに作られた地域に居住している住民が多く、連帯感やつながりが薄いと感じている意見があります。小学生の保護者を対象としたアンケート調査でも子どもたちを地域活動に参加させている理由として、地域における交流や各種体験をさせることが一番多く挙げられています。

立花地区では「放課後子ども教室」や「通学合宿」「リーダー研修会」「クリーン大作戦」などの活動が活発に行なわれていますが、特に「放課後子ども教室」「竹炭づくり、石窯づくり、ピザづくり」など体験学習ができる活動の必要性はアンケートでも高いポイントを示しています。このように青少年の育成に関して交流や体験を主体とした活動が求められていると考えられます。次世代を担う子どもたちを心豊かに育てるために各種団体、子ども会、育友会、学校関係者と連携を図り、各種の取組みを行ないます。

【課題の柱】

1 交流や体験を主体とした活動

《具体的な行動計画》

- ・親子で参加できる交流活動や体験活動の実施
- ・親子で活動参加できる環境づくり推進
- ・三世代交流や異年齢交流の実施

2 子どもを育てる活動への積極的な参加

《具体的な行動計画》

- ・子どもに係る団体のPR活動を推進
- ・子ども活動事業の参加を呼びかけるPR活動の推進
- ・子ども会、育友会の活動を活発化、拡大化するための啓発活動の推進

3 子どもを育てる活動へ積極的に係る地域住民の育成

《具体的な行動計画》

- ・子ども会や各種団体の活動をサポートするボランティアスタッフの育成
- ・活動を充実させるため、スタッフ研修会を開催

③人々が支えあうあたたかい地域福祉のまちづくり（健康・福祉部会）

高齢化の進展とともに、「老後の生活への不安」の声は高く、また、社会的な弱者を地域で支えあい「みんなが生き活きと暮らせるような環境づくり」への期待が高い状況にあります。老人会やレディース、食生活改善協議会、民生児童委員会、福祉活動員などとの連携を図り各種事業に取り組めます。

【課題の柱】

1 少子高齢化の進展に伴う情報把握と高齢者対策

《具体的な行動計画》

- ・各団体が持っている情報による連絡網の整備
- ・公民館報を利用しての情報提供
- ・各種団体の連携による高齢者との交流会（ふれあいサロン）の開催
- ・三世代による軽スポーツ大会の開催（グランドゴルフなど）
- ・交流手段の調査、研究を行い、行政に働きかける（福祉バス、福祉タクシー、いまりんバス）
- ・独り暮らし高齢者への声かけ訪問（昼間の独り暮らし高齢者も含む）
- ・障害者とのふれあい交流

2 地域福祉への取組体制の充実

《具体的な行動計画》

- ・各種団体の事業の重複を見直し、互いが協力し合えるような態勢づくり
- ・各組織の再構築に取り組み、役割の再認識と各団体の連携促進
- ・地域における各団体の組織を見つめなおし、設置理由など基本理念の確認
- ・地区役員に協力してもらい、組織の再構築及び各種団体の連携強化

3 健康づくりの推進

《具体的な行動計画》

- ・各種団体による、ふれあい給食や料理教室の実施（配食も含む）
- ・だれでも参加できる料理教室の開催
- ・健康教室の開催（各種団体連携）
- ・ダンス、歌、料理教室など多方面から健康教室を開催
- ・高齢者の頭脳活性化教室（囲碁、謡曲、生け花、ちぎり絵、書道など）の開催

④安心・安全に暮らせるまちづくり（安心・安全部会）

立花地区は各種団体が交通安全キャンペーンや子ども見守り隊など、交通安全活動や防犯活動を行っています。

地区住民が、より一層安心・安全に暮らせるように、交通安全や防犯に関する情報を共有し、地域住民が協力した体制で取組みます。

また、アンケートの結果で、まちづくりを進める上で全体の 20%の人が「生活環境や自然環境に関する活動を盛んにすること」と回答しています。そのため、地区の環境保全にも取組みます。

【課題の柱】

1 交通安全に関する取組み

《具体的な行動計画》

- ・自転車の交通マナー改善のための学校等への要請
- ・路上駐車を解消するための啓発活動

2 防犯に関する取組み

《具体的な行動計画》

- ・子ども達の遊び場確保のために、グランドゴルフ等の公園使用時間の調整
- ・防犯灯の設置
- ・子ども見守り隊の活動充実のための見直し

3 地区の環境保全

《具体的な行動計画》

- ・ペットのフン公害防止のための啓発活動
- ・ペットの散歩マナー周知活動
- ・ゴミ出しマナーの改善のための啓発活動
- ・ゴミのポイ捨て禁止啓発活動

⑤地域特性や文化活動を活かしたまちづくり（文化活動部会）

立花地区は、官公庁や病院、大型スーパーがあり、駅南北通りののにぎわいも加勢し、伊万里市においても中心的なところであると同時に、黒曜石でも有名な腰岳のすそ野に広がる自然あふれる地区です。

立花塾や立花大学など文化教育を通してのコミュニケーションも盛んであり、立花台地の比較的新しい歴史と、昔からの伝統を受け継ぐ、ゆとりある歴史が入り混じっています。

高齢化と言われる中、年配の方と若者が地域ごとの文化活動や地理的特性を活かし、立花地区としての発展につなげられるような取組みを行います。

【課題の柱】

1 文化教養を中心とした高齢者と若者の融合

《具体的な行動計画》

- ・学校、子ども会及び各種団体の連携による地域及び教養文化の習得
- ・各種団体における行事の同時開催
- ・高齢者による講義の開催

2 四季折々の景観の活用

《具体的な行動計画》

- ・隠れスポット（地域の宝）などの調査をするためのアンケートの実施
- ・駅前広場や腰岳での観賞会を兼ねたイベントの開催

3 活動情報発信のための情報紙及び電子媒体活用への取り組み。

《具体的な行動計画》

- ・各家庭の情報源を確認するためのアンケートの実施
- ・無料情報紙等での情報発信
- ・ホームページの作成
- ・公民館報「こしだけ」の活用

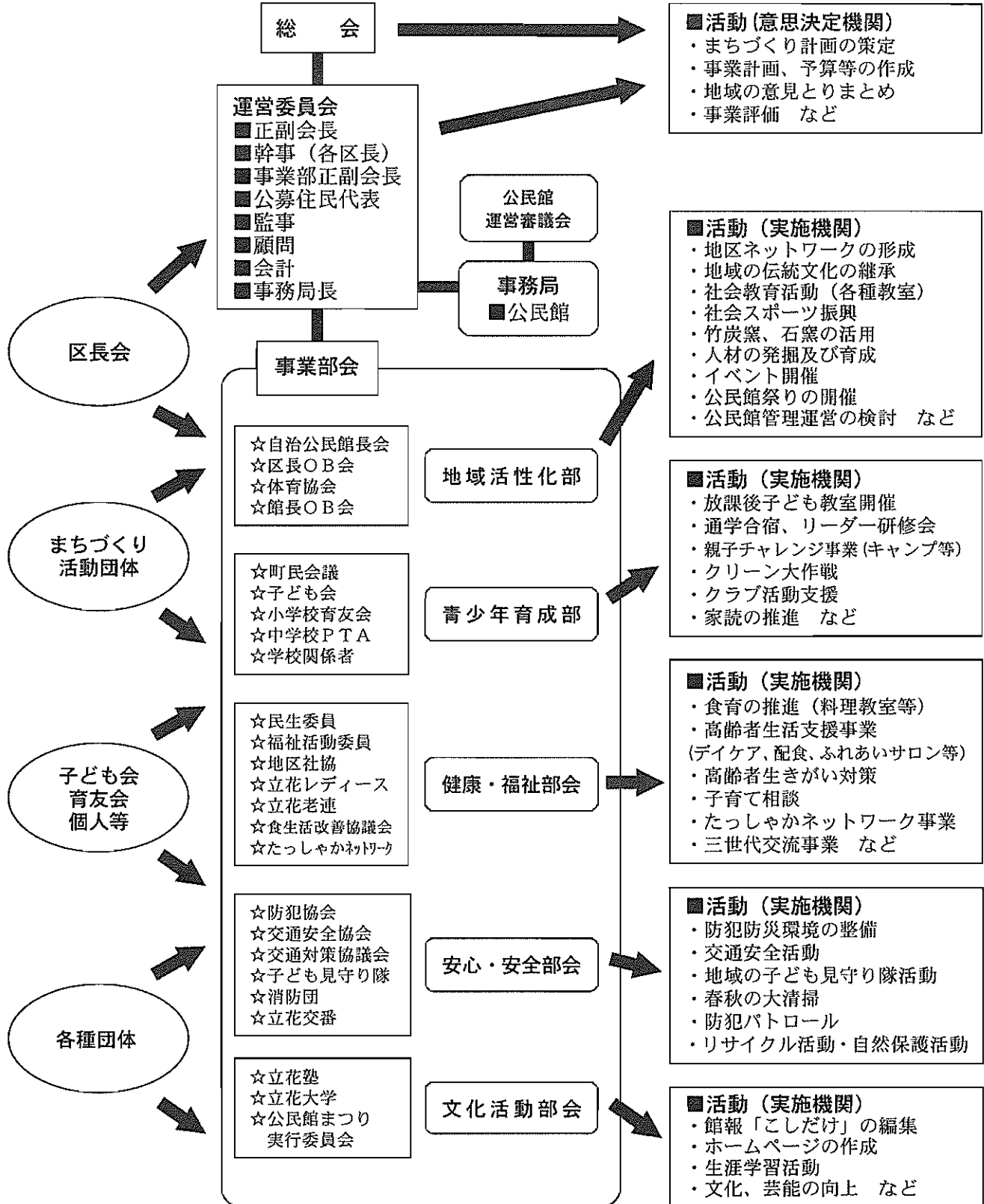
4 立花塾生の高齢化

《具体的な行動計画》

- ・若い塾生が増えるような講義の実施

4. 構想実現に向けて

(1) 立花地区まちづくり運営協議会の組織

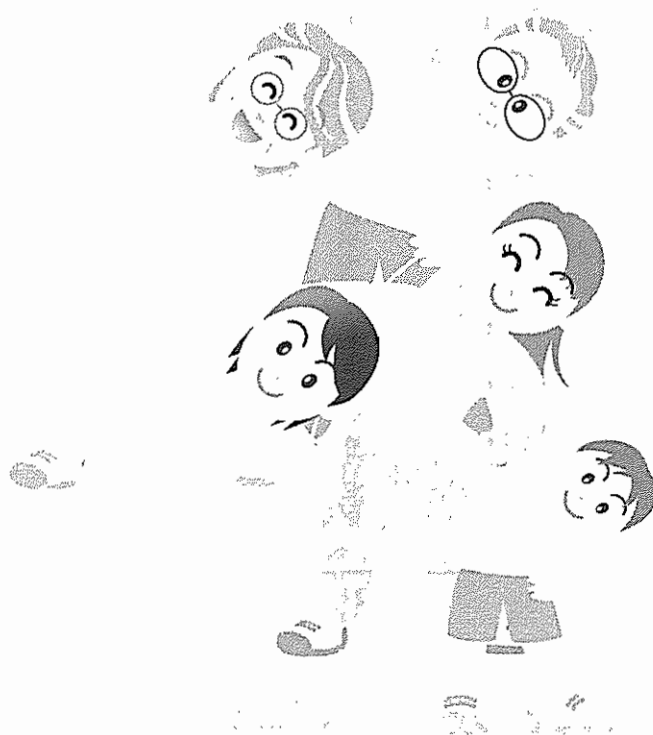


(2) これからの進め方

立花地区まちづくり基本計画を具体化し、将来構想を実現するために、個別の事業を、

- ①短期的（既存のもの及びすぐに取り組むもの、3年以内）に行うもの
 - ②中期的（少し期間を要するもの、4年～7年）に行うもの
 - ③長期的（相当の期間を要するもの、8～10年）に行うもの
- に分類し、また、行政に要望するもの、立花地区で取り組めるものに整理しました。

なお、具体的な事業計画は、アンケートの結果等の意見を参考にして、立花地区まちづくり運営協議会事業部会で検討します。



立花地区町民憲章

私たちは、「仲良く！楽しく！元気良く！」をスローガンに、支え愛・学び愛・活かし愛の豊かな心で、豊かな住みよいまちづくりをめざし、次のように町民憲章を定め活動します。

- ◆仲良く！ 人々が支えあう人情あふれるまち 立花
- ◆楽しく！ 心豊かに安全で住み良いまち 立花
- ◆元気良く！ みんなが生き生きと活力のあるまち 立花

立花地区の花・木

◆木 なんきんはぜ

立花地区のメインストリートの一つである市道平尾-脇田線には街路樹として「なんきんはぜ」が植栽されており、春は新緑・夏は青葉・秋は紅葉と季節々に道路に美しい彩を添え、特に紅赤色に染まる秋の紅葉は素晴らしい。

また、なんきんはぜは、土地を選ばない根付きが良い強い木であり、住民のたくましい健やかな成長と地区の発展を願うものである。

◆花 ふじ

立花地区は「伊万里富士」といわれる腰岳の眼前に広がっており、立花公民館には開館当初から「ふじ」が植えられている。

また、ふじの花言葉は「協調」であり、住民が助け合い協力して住みよいまちづくりを目指すものである。

◆町（公民館）のシンボルマーク

立花公民館においては、開館時に公募により既に下図のとおり決定しています。

立花の「立」の字と「人」を図案化したもので、町民の躍動感と町民の融和を表現しています。



(参考)



立花地区まちづくり基本計画

－基本理念－

仲良く！ 楽しく！ 元気良く！

住みよい明るい活力あふれるまち立花

－目 標－

- ・ **みんなが安全・安心に暮らすことができるまち**
- ・ **みんながささえあう人情あふれるまち**
(支え愛・学び愛・活かし愛)
- ・ **みんなが生き活きと元気あふれるまち**

立花地区まちづくり基本計画

平成 21 年 3 月 発行

立花地区まちづくり運営協議会

事務局：立花公民館内
伊万里市立花町 1891-79
電話 0955-20-4567